

2018 年度春季 TEA's English 集中プログラム募集要項

「2018年度春季TEA's English集中プログラム」(以下、「本プログラム」という。)は、東北大学高度教養教育・学生支援機構グローバルラーニングセンターの東北大学イングリッシュアカデミー(Tohoku University English Academy; TEA)が開講する短期集中型プログラムです。

本プログラムは、全米最大の留学生受入機関(語学学校)ELS Language Centers の指導方法を基に、アカデミック英語、研究論文執筆、TOEFL iBT[®]対策などの目的別の対策講座を約 2 週間の短期間に集中して開講するものです。海外の大学・大学院への留学や研究、国際社会で働く際に必要とされる英語力の習得を目指すプログラムです。

1. 募集内容

講座名:① Academic 1・2

② Academic General Writing

③ Academic Science Writing

④ TOEFL iBT[®]対策講座

募集対象:①②④ 全学生(学部、大学院学生)

③ 大学院学生および学部3年生以上

※①～④ともに非正規生(=学位取得を目的とせず本学に在籍する学生。研究生、科目等履修生、特別聴講学生、特別研究学生等)は除きます。

受講基準:

講座名	受講基準
① Academic 1(中級)	TOEFL ITP [®] テストスコア 450～500相当
① Academic 2(上級)	TOEFL ITP [®] テストスコア 500～550相当
② Academic General Writing	TOEFL ITP [®] テストスコア 500相当以上
③ Academic Science Writing	TOEFL ITP [®] テストスコア 500相当以上
④ TOEFL iBT [®] 対策講座	TOEFL ITP [®] テストスコア 500～550相当

※Academic Science Writingの受講には英語で書かれた研究論文・実験レポートの読解経験があり、基礎的な論文構成や他の論文の引用・言い換え・要約などのスキルを有する必要があります。

※TOEFL ITP[®]テスト未受験者でも応募は可能です。

※TOEFL ITP[®]テスト等の受験やそのスコアの有無にかかわらず、申込者は2018年度後期学期内プログラム受講生を除き、全員事前プレースメントテストを受験することとし、その結果により受講可否および受講講座レベルを決定します。

開講期間:計3期間(ターム) ※土日祝は休講

第1ターム:2019年2月6日(水) ～ 2月20日(水)

第2ターム:2019年2月22日(金) ～ 3月7日(木)

第3ターム:2019年3月11日(月) ～ 3月25日(月)

受講回数:①④ 1日6レッスン(1レッスン50分)×10日間(全60レッスン)

②③ 1日4レッスン(1レッスン50分)×10日間(全40レッスン)

講座概要:最終頁の別紙を参照

受講時間:①④ 9:30 ～ 16:20

②③ 9:30 ～ 14:20

定 員:90名 (1クラス15名制)

受 講 料:無料

※ただし、別途下記テキスト代と振込手数料がかかります。

① 6,000円(税込) ②③ 5,000円(税込) ④8,000円(税込)

※以下のテキストを使用します。過去に受講歴があり当該テキストを所有している場合は、購入する必要はありません。

① Academic 1(中級)	Structure and Speaking Practice: Fitzgerald by ELS, 3 rd edition
	Reading and Writing: Fielding by ELS, 3 rd edition
① Academic 2(上級)	Structure and Speaking Practice: Hughes by ELS, 3 rd edition
	Reading and Writing: Huxley by ELS, 3 rd edition
② Academic General Writing	Sourcework: Academic Writing from Sources, 2 nd Ed., Heinle, Cengage Learning 2012, Dollahite and Haun
③ Academic Science Writing	Academic Writing for Graduate Students, 3 rd Ed., University of Michigan 2012, Swales & Feak
④ TOEFL iBT®対策講座	Tactics for the TOEFL iBT Test, Christein Lee, Oxford University Press, 2015

教 室:川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟および国際交流棟

※詳細は受講可否通知時にお知らせします。

2. 応募方法及び結果(受講可否・受講講座・受講ターム)通知

<応募受付期間>

2018年12月14日(金) ~ 2019年1月24日(木) (先着順)

※受付期間内であっても、定員に達した後の申し込みについてはキャンセル待ち扱いとなります。

※キャンセル待ち扱いの申込者も、プレイスメントテストの受験が必要です。

※定員に達しない場合は、受付期間後も申し込みを受け付ける場合があります。

<応募方法>

以下オンライン申請フォームからお申し込みください。

<https://teasenglish.secure.force.com/application/enquete?id=a040I00001ygZxJQAU>

※原則として受講するタームすべてのレッスンへの参加が応募の条件です。応募の段階で、どうしても参加できない日時がある場合は、TEA's English事務局へ事前にメールでお知らせください。

※申請フォームからの送信は1度のみとし、複数回送信しないでください。

<結果>

受講可否・受講講座・受講タームの通知日:2019年1月30日(水)予定

通知方法:全申込者(申請フォームに入力したメールアドレス宛)にメールにて通知します。

※通知タイミングは上記日程から前後する可能性があります。ご了承ください。

※通知日を過ぎても連絡がない場合には申し込みが正しくできていない可能性がありますので、

TEA's English事務局までご連絡ください。

※募集状況によって、各タームにつき、より多くの方が受講できる2講座を開講します。
 ついては、希望講座が希望タームに開講されない場合がありますので予めご了承ください。

3. 応募(申請フォーム入力)時の注意事項

希望講座と希望タームを第3希望まで選択してください。

※第2希望以降がない(=都合が合わない)場合は、第1希望の入力のみで結構ですが、より多くの方が受講できる2講座を各タームで開講するため、スケジュールが許すかぎり、2つ以上の組み合わせを選んでください。

※希望の受講タームやプレイスメントテストの結果等の応募情報を考慮し、受講可否や受講レベルを決定します。(※レベル区別はAcademic 1・2のみ)

※講師を選ぶことはできません。

4. プレイスメントテスト

申込者は、英語力を確認するために本プログラムが事前に行う下記①～③のプレイスメントテストすべてを受ける必要があります。受験方法・時期などの詳細については別途、登録したメールアドレスへご連絡します。

テスト形式	実施方式	実施時期
① リスニング	オンライン	申請フォームにて申し込みを受付後、スピーキングテスト前日までに各自実施
② ライティング		
③ スピーキング	対面インタビュー	1月17日(木)～1月25日(金)(平日のみ)の10時～12時、13時～15時、16時～17時のうち、任意の時間帯を予約

※スピーキングテスト受験時には、本人確認のため学生証を持参してください。

※プレイスメントテストの試験結果によっては、TEA's English事務局よりご連絡のうえ、受講レベルについて調整させていただく可能性があります。また、受講できない可能性もあります。

※2018年度後期学期内プログラムの受講生はプレイスメントテストが免除されます。原則、レベル1の受講生はAcademic 1、レベル2と3の受講生は希望講座をもとに講師が各受講生のレベルを評価および判断し、Academic 2、Academic General Writing、Academic Science Writing、もしくはTOEFL iBT®対策講座を受講します。

※2018年度後期学期内プログラムへ申し込み、プレイスメントテストを受験したものの、プログラムの受講に至らなかった学生は再度プレイスメントテストを受験する必要があります。

5. 受講決定後の注意事項

- ・受講にあたっての細則は、別途、本プログラムに関する「受講ガイドライン」でお知らせします。
- ・テキスト代のお支払方法については、受講決定後にご案内いたします。(原則、遅くとも講座開始前日までに入金を済ませてください。期日に間に合わない場合はTEA's English事務局に電話またはメールにてご連絡ください。)
- ・講座初日中にテキスト代が入金されていない場合、継続してレッスンに参加ができない可能性があります。
- ・テキストはレッスン初日に教室にてテキスト代の入金を確認できた受講生にのみ受け渡します。
- ・受講決定後に個人都合で受講を辞退した場合、テキスト代の返金はありません。

6. 個人情報の取り扱いについて

本プログラムへの申し込みの際し、申請フォームに入力された個人情報は、運営会社(株式会社ベネッセコーポレーション)と国立大学法人東北大学との取り決めにより、手続きや本プログラムに関する各種連絡等の目的でのみ利用します。提供されない情報がある場合、手続き・サービスの提供等に支障が生じることがあります。また、一部の業務につき個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。

7. 問い合わせ

東北大学イングリッシュアカデミー TEA's English事務局

川内北キャンパス 国際交流棟2階212

受付時間:

2018年12月14日(金) ~ 2019年1月11日(金) 10:00~18:00

2019年1月15日(火) ~ 3月29日(金) 9:00~17:00

※土日祝および以下の期間を除く。

2018年12月25日(火)~2019年1月3日(木)、2019年1月18日(金)

TEL:022-795-3777

E-mail: tea-english@g-mail.tohoku-university.jp

別紙

① Academic 1・2

開講期間中(計10日間)、レッスン時間は当然ながら、レッスン外の課題も含め集中的に英語を使う環境で、海外の大学や大学院に留学する際に必要とされる英語力を培います。大学で扱われるテーマについてディスカッションやプレゼンテーションをする力、論理的な文章を構成し、レポートにまとめる力などのスピーキング、ライティングに焦点を当てつつも、専門的な内容の文献やレッスン内容を理解する力など4技能(読む、書く、話す、聞く)を伸ばすことを目指します。また、ELS独自のe-learningを活用した語彙力の強化も行い、短期間に集中して知識を詰め込むだけでなく、その知識を「使いこなす」運用能力の向上に注力します。TOEFL®等の外部英語試験対策に役立つことはもちろんですが、英語試験スコアの向上だけを目指すのではなく、本質的な英語運用能力を身につけられることが特徴です。

Academic 1とAcademic 2では、全体的な授業難度、使用する教材、授業の中で取り扱うトピック及び注力して伸ばす技能等が異なっています。

② Academic General Writing

英語で研究論文を書くための基礎的なライティングスキルを高める講座です。草案づくりからアウトライン作成、ピアリーディング、編集作業という一連の作業を通して基礎となる論文構成を理解し、論理的思考力や他の論文の引用・言い換え・要約など、論文執筆に必須なスキルを習得します。

午前中は活発に講師・学生同士がコミュニケーションをとる中で理論を習得し、定着させていきます。午後には、実際の英語レポートを完成させていき、帰宅後も1日1～2時間程度、自宅で執筆することが求められます。既に論文テーマを決めている学生にはその論文をさらに発展させるためのアドバイスを、テーマの定まっていない学生には、テーマ選択の導入部分からサポートしていきます。講師がマンツーマンでフィードバックを行う時間も別途設けられています。

③ Academic Science Writing

主に理系分野専攻の学生のためのサイエンス特化執筆講座です。大学院以上の学生向けの講座ですが、高い英語力および英語で書かれた研究論文・実験レポートの読解経験がある学部3年生以上も受講可能です。データや実験結果を用いた研究論文を書くための実践的なライティングスキルを学びます。論理的思考力や引用・言い換え・要約などの基本スキルはもちろんのこと、データに基づいた証明やIMRDフォーマット(Introduction, Methods, Results, Discussion)を用いた体系的な論文執筆法を、個々の研究課題をトピックとして実践的に身につけます。

午前中は活発に講師・学生同士がコミュニケーションをとる中で理論を習得し、定着させていきます。午後には、実際の英語の論文やレポートを完成させていき、帰宅後も1日1～2時間程度、自宅で執筆することが求められます。講師がマンツーマンでフィードバックを行う時間も別途設けられています。

④ TOEFL iBT®対策講座

TOEFL iBT®のスコア向上を目指す学生のための講座です。TOEFL iBT®対策用のテキストを使用し、テストの構成や評価方法などの特徴を理解したうえで、セクション毎(リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング)の攻略方法を学びます。午前は活発に講師・学生同士がコミュニケーションをとる中でスピーキングとリスニングの強化をしていきます。午後は、PCを利用しながらWritingやReadingのアクティビティを行います。